

次期総合計画タウンミーティング（中村区） 開催報告

1. 日 時 : 平成 30 年 11 月 25 日（日） 14:00～16:00
2. 場 所 : 中村区役所講堂
3. 出席者 : 河村市長、窪田中村区長、総務局松雄企画調整監、総務局難波企画部長、
総務局鈴木企画課長
4. コーディネーター : 井澤 知旦氏（名古屋学院大学現代社会学部教授・学部長）
5. 参加者 : 111 名
6. プログラム
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ
 - (3) 名古屋市次期総合計画中間案の説明（映像）
 - (4) ご意見・ご提案の聴取
 - (5) 閉会

7. 発言の記録

○市長あいさつ

【市長】

- ・今日は、一番多いですね、今までの中で。大分、13 回か 4 ぐらいまでやってきましたけど、どえらいぎょうさんの人がおいでいただきまして、サンキューベリーマッチということでございます。
- ・中間案って書いてありますけども、まあまああんまりこだわらずに、身近なことでも結構ですから。夫婦げんかはちょっといかんけど、夫婦げんか以外のことだったら何でもどうぞおっしゃってちょうだいということでございます。
- ・中村区でございますので、リニアの話がありまして、今日本で一番注目を浴びとる地域ということでございますから。災害でもちょっと水が、低いところもあるでね、これ。よっぽど注意せないかんなどは思っております。
- ・それから、この間、今年からですけど、「人生大出世夢街道」ということで。名古屋城ばっか話してってかんぞいって豊国神社で宮司さんにこの間怒られましてですね、こりゃいかんということ。あんた秀吉忘れたらいかんじゃないかということ。こちらのほうも大いに盛り上げようということになります。秀吉さんばっかじゃなしに、清正さんもござるし、前田さんも、あっちは中川区だけど、まあこの一帯ですからね。それから福島正則とか、ここら辺から武将がば一出てって新しい時代をつくってったと。江戸時代の大名の 75% ぐらいはこの辺から出とれへんかというぐらいの大変由緒ある地域でございますので、どうぞご自由にいろいろまたしゃべってちょうだいということでございます。
- ・ようおいでいただきまして、サンキューベリーマッチ。

○ご意見・ご提案の聴取

【コーディネーター】

- ・皆さん、改めまして、こんにちは。
- ・コーディネーターを担当しております名古屋学院大学の井澤知且と申します。どうかよろしく願いいたします。
- ・では、早速始めさせていただきたいと思います。
- ・これより、名古屋市次期総合計画の中間案につきまして、皆様方からご意見あるいはご提案をいただきたいと思っております。
- ・本日の進め方について。皆さんお手元に「NAGOYA をつくろう！」というパンフレットがあると思いますが、その5ページ、6ページをお開きください。ここに名古屋市が実現をめざす将来のまちの姿が5つの都市像として示されております。これを3つに分けてやったらどうかと思っています。
- ・まずは都市像1と2を1つのテーマとして数名の方々からご意見を伺い、その後に市長並びに事務局からご回答、まとめてコメントさせていただけたらなと思っております。同様の流れで、2つ目のテーマが都市像3と4、最後3つ目のテーマとして都市像5、並びに前半部分で意見が言えなかった方も含めてトータルでということでご意見をいただけたらなと思っております。
- ・ご意見、あるいはご提案のある方は、まず挙手をお願いしたいと思います。私が指名いたしましたら、その方に係の者がマイクをお持ちいたしますので、皆さんがはっきりと聞き取れるようにご発言していただけたらと思います。その際、お名前とお住まいをおっしゃっていただいてからご発言をお願いできればと考えております。ご発言が終わりましたら、マイクを係の者へ返してください。できるだけさまざまな方からご意見をいただきたいと考えておりますので、お一人様3分以内で簡潔にご発言してください。どうしてもしゃべり始めると時間感覚がなくなりますので、僕は聞いとるときは座っておりますけれども、3分近くなったら、もう発言を取りまとめてくださいという趣旨でゆっくりと立ち上がりますので、どうかよろしく願いいたします。
- ・それと、幅広くご意見をうかがうために、老若男女、前後左右のバランスを考えて指名させていただきたいと思っておりますので、どうかご協力のほどよろしく願いいたします。
- ・それでは、都市像1「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち」と、都市像2「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」、この2つをまとめてテーマとして会場からご意見、ご提案をいただきたいと思いますが、発言のある方は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。
- ・一番最初に挙がりましたので。
- ・お住まいとお名前、よろしく願いします。

【1人目（西区）】

- ・恐れ入ります。初めまして。よろしく願いします。

- ・安心して暮らせるまちということで、今日うちのマンションの前にある採石場のことで苦情があります。
- ・この採石場は名古屋駅に自転車、バスで10分ほどの距離のところにあります。今現在、都市開発というのがテーマに挙がっている中で、まちなかで土砂置場。マンションですので若者が生活しているんですけれども、砂がベランダにすごくたまって、窓が開けられない、洗濯物は全く干せないという現状が続いております。室外機が故障しないかというのが常々心配で、壊れるのは時間の問題と思っております。
- ・特に一般市民が生活するに至って、朝8時から夕方5時ごろまで営業しているんですけれども、土曜日、祝日、具体的にいえばゴールデンウィークであつたりとかも、みんながゆっくりしたいというのに、朝からがっしやんがっしやんとショベルカーと車が、車両が10トントラックから2トントラックまでが出入りして、午前中は朝8時からもうピークで、騒音も、正確に測ったことがあるんですけれども、70デシベル以上が常に発生している現状です。
- ・永年続いているんですけど、どうしてこの採石場がいつまでもあるのかなということで、困っております。通学路にもなっていますし大変危険で、普通に生活することが全くできないというのが。それでも我慢して生活している人たちがいらっしゃるんですけど、都市開発のことを今考える状況の中で、そろそろ名古屋市も環境状況が、住居環境も非常に発展してきていますので、名古屋のことが大好きな私にとっては、もうそろそろしっかりと考えていただいて。
- ・あまり個別には言いたくないところもあるんですけど、事業内容もわかるんですけど、岐阜の会社が、車両も岐阜の車両ばかりで、名古屋の場所で近隣に多大なる迷惑を起こしておりますので。私も建築家として都市開発のことを常に考えている人間なんですけれども、出入りする人間であつたりとかも、この場所でやらなくてもいいんじゃないですかみたいなことは皆さんが言いますので、ぜひともこの機会によろしく願います。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・続いて、いかがでしょうか。挙手をお願いしたいと思います。
- ・今マイクをお持ちしますので。

【2人目（中村区）】

- ・すみません。私、耳が不自由ですので、かわりに読み取ってもらいますので、願います。
- ・テーマ、安心して暮らせるということが書いてあります。高齢者、障害者が安心して暮らせるまちということであります。私は、安心して暮らせるということは思っておりません。例えば道路幅、道路の左右で歩行者がいるときに、例えば自転車が通るとき、歩道が狭いものですから、1メートル半ぐらいのところを歩行者が歩いているときに自転車が後ろから通りすがっていくわけなんですけれども、私は聞こえないので、普通に歩いていると後ろからぶつかってくる状況があります。歩行者専用の道路の近くに自転車専用の

通る道をつくって、備えてほしいというのが要望です。

- ・もう1つ、区役所において手話通訳を設置していただきたいというのが要望です。どうしてかと申しますと、今中村区の市営とか県営住宅には聾啞（ろうあ）者が多く住んでおります。区役所から手紙を、いろいろ連絡の郵便物が届くわけですが、読むことがとても困難な方がいらっしゃいます。ですから、私のところへわざわざ来て、この郵便物は何て書いてあるかと尋ねられます。それで私は手話でもって説明するんですが、やっぱり区役所に専任の手話通訳者を置いていただければ、私がそういうことをしなくても高齢者が安心して暮らせると思います。
- ・もう1件ですが、手話は言語であるということが認められましたので、手話言語条例が制定できるようにお願いしたいということです。
- ・障害者差別禁止条例ができました。来年、それとあわせて手話言語条例が立ち上がるということを聞きましたが、これだけ手話が普及してきましたが、やっぱりまだまだ手話が行き届いていないと私たちは思っています。手話を言語として獲得ということのために、やっぱり手話言語条例ということが必要とします。それが、私たちが安心して暮らせるまちづくりになるわけですので、そこら辺をよろしくお願いしたいと思います。
- ・以上で意見を終わりたいと思います。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・あと2名ほど会場からいただきたいんですが。
- ・手が挙がりました。今マイクをお持ちします。

【フロア】

- ・テーマが1番2番ということですけど、5つのテーマがありますよね、1番2番だけにこだわるんじゃなくて、トータル的なことを。トータルでもないですけど、1番2番のテーマとは違う話になるかもしれないですけど、いいですか。
- ・順を追って質問したほうがいいんだったら後ほどで結構です。

【コーディネーター】

- ・そうしたら、一番最後にトータルで全部しゃべれる時間をつくりますので、ちょっとお待ちいただけますか。まず1、2に絞りたいと思います。すみません。必ず最後にお当てしますので。
- ・ほかにいかがでしょうか。
- ・お願いいたします。

【3人目（中村区）】

- ・高齢者が安心して暮らせるために、3点ほど発言したいと思います。
- ・1つは、特別養護老人ホームの件ですけれども、実は、2000年に介護保険が始まりましたときにこの講堂で説明会がありまして、参加いたしました。そのときに「特別養護老人ホームは、必要な人はみんな入れますか」というご質問をしましたら「入れます」と

おっしゃっていただいたんですけれども、今待機者が非常に多いと、名古屋は1,000人以上も待機者がおられると聞いております。それで、特養ホームの名古屋市における計画、今ぶつかっておる問題点などもお聞かせいただければと思います。

- ・もう1つは、介護の保険料、利用料の負担の問題ですけれども、介護保険料は愛知県の中でも名古屋市が一番高いと聞いております。この負担とともに、また利用料もかかるということで、サービスを受けることを躊躇する方もいらっしゃると思います。そういう点で、介護保険料、利用料の減免や軽減についての制度を、ぜひ名古屋市もつくっていただきたいというのが2つ目です。
- ・3つ目は、住宅の問題ですけれども、今年金生活をしている人の中で、やっぱり家賃が非常に負担が大きいということで、市営住宅などを申し込んでいる人もいるわけですけれども、なかなか当たらないということで、そういった点での市営住宅の建設。
- ・また、高齢者が今希望しているのはシルバー住宅で、これは西区と千種区にあると聞いておりますけれども、ぜひ中村区にも建設していただきたいというのが要望です。
- ・最後に、牧野公園に近々行きましたところ、子どもさんの遊具と大人も使えるぶら下がりの器具が設置してありまして、大変うれしく思いましたのでお礼したいと思います。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・もう一人の方だけこのテーマで、いかがでしょうか。よろしいですかね。
- ・今手が挙がりましてので。
- ・すみません。またお住まいとお名前、お願いします。

【4人目（中村区）】

- ・よろしく申し上げます。
- ・今のビデオとか見せていただいて、本当にいろいろな問題が山積しているし、名古屋市の目標としていろいろなことを考えてくださっているんだということが改めてわかりました。どれも大事なんですけれども、自分が一番今大事じゃないかなと思うのは、都市像2です。少子化が一番大事ではないかなと思っております。
- ・少子化の問題を、今動き始めたとしてもすぐに解決することはできないし、本当に待ったなしの政策が要るのではないかなと自分としてはすごく危機感を持っております。それに反して、やはり自分の周りにも結婚されない方はみえますし、結構増えているような感じすら感じられます。
- ・それはどうしてなのかなって。やっぱり自分の充実した生活を送りたいということもあるし、いろいろなことがあると思います。社会の過ごしやすさとか、働きたい、働き続けられない、そういういろいろな環境の中で子どもを生み育てるとということ、結婚するということに対して何か困難さを感じるというか、希望が見られないとか。そういうことに対して、もっともっと積極的に子どもを育てたいという気持ちになるような政策をどんどんとにかく全力で打っていく。
- ・先進国はやはり少子化の問題を抱えている国が多いと聞きますけれども、その中でも少

子化を脱することができた国がある。その政策を、私もまだ勉強不足なので今ここで言うことはできないですけれども、そういう国の例とかいろいろなところの例を見本にして、とにかく少子化対策を第一に進めるときではないかなど。

- ・いろいろな問題があるのでいろんなことも必要なんですけれども、そうしないと本当に未来がない。労働力でも、足りないけれども、どんどん足りなくなっていく。日本の文化を継承していく子どもがいなかったら、もう未来はないと考えております。ですので、名古屋を少子化打開第1の都市ということで、日本の先駆けになるような政策を思い切って打っていただきたいなと思います。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・それでは、今4名の方からご意見をいただきましたので、それにつきまして市長並びに事務局からご回答をお願いしたいと思います。
- ・1人目の方からは、採石場がまちのど真ん中にあると非常に迷惑をこうむっていると、通学上も危険であるので何らかの対策を出してほしい。
- ・2人目の方からは、障害者にとって安心して暮らせないと、特に歩道を自転車がばんばんスピードを上げて通っている、そういう中でぶつかりそうだから自転車専用道が必要というご意見と、区役所に専任の手話通訳を置いてほしいし、手話言語条例をきちっとつくってほしいという要望でございます。
- ・3人目の方からは、特別養護老人ホームについてですが、この特養の計画について今どういう壁にぶつかっているのか、問題点があるのか説明してほしいということと、介護保険料、利用料をできるだけ負担が少ないように減免できないか。また、年金生活者としては家賃負担が非常に大きな問題なので、これを何とか対策打てないか、特にシルバー住宅が中村区にはないのではないかと、だからつくってほしいという要望です。
- ・最後に4人目の方から、特にこれから名古屋市にとっては少子化対策が非常に重要であると。いろんな原因があるのかもしれませんが、名古屋市自身が積極的に少子化対策を打って、少子化打開ナンバーワンの都市であるという形で積極的に推進してほしいという要望がございました。いかがでしょうか。よろしくお願いたします。

【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・まず、1人目の方ですか、西区。これ、一遍採石場教えてちょ、具体的に。ここで言うところちょっと問題があるで、後で教えていただいたら、きちっと話行きますから。
- ・2人目の方が、歩道の自転車が危ないということですね。これ、そういう指摘も。目、耳の不自由な方だけじゃなくて、高齢の方からもよう聞くんですわ、これは。だで一遍。
- ・どの辺ですか、若い連中かね、やっぱり危ないのは。高校生とか中学生とか。

【2人目】

- ・若い人です。

【市長】

- ・学生風ですか。

【2人目】

- ・学生です。

【市長】

- ・学生は学生で言いやすいもんで。学校経由でちゃんと、そういう声があるということで、もっと気いつけて走れということは伝えますわ。本当は車道を走るようにせないかんのだけども、ちょっとなかなかいかんところがありますんで、とりあえずは。
- ・それと、ヘルプマークいうのをつけてもらえるようになりましたんで、一応。嫌かな、後ろかなんかつけるのは。

【2人目】

- ・嫌です。

【市長】

- ・嫌ですか、やっぱり。ご無理を言ってはいかんもんだで。わかりました。
- ・学校のほうに、とりあえずまずフォローするようにします。
- ・区役所に手話通訳は、昨日緑区でも同じ話があったで、これやりゃあ、ほんだで。ということだと思えます。

【区長】

- ・できる職員もいるんですけども。

【市長】

- ・だで、できる職員にやってもらうか、何人かで勉強してだね、やるようにして。置くようにします、これは。
- ・手話言語条例も、これも3回は言われとりますんで、これも出そまいと2月の議会にというふうに言っとなりますんで。企画調整監から健福に言ってある言うけど、言っただけでやれへんとかんぞ。だで、必ずやらせないかんです、これは。というふうで、2月の議会に出せるように段取りします。
- ・3人目の方の特養ですが、初めのときに「みんな入れますか」と言ったら「入れます」と答えたいうのは、これはうそですね、これ。こういうね、うそをこくで本当にいかんの、これ。もう介護保険は当初から、健康保険と違ってそんなね、全員入れるもんじゃないんだと、これはということだったんです。僕も反対だったんですよ、実は介護は。健康保険と違って際限なく拡大してってですね、そんなん全部。医者と違ってですね、何号何号行ってきちっと割り振っていったりすることなんかできませんのですわ、これ。
- ・ほんで、青森の介護と北海道の介護と名古屋の介護で全然違うじゃないですか、そもそ

も。これ、名古屋なんかだったら独居老人の人ようけおるもんだで、そういうとこで身近なやってきゃええんですわ。年寄りの数に従って、65 以上の、現金を分けろいって言っとったんです、わし国会でそれ言っとったんだけど、こういう途方もないことをうそ言っつくるわけですよ、これ。

- だで、今金がものすごい、どんどこんどこ介護保険料上がってってまって、変な言い方だけごまかしも多いわけよ、これ。だけど、わしは総理大臣じゃないないもんだで、できせんもんだで、これ。だで、名古屋でもちゃんと介護保険の特区を申請しろと、これ。要介護というか、重症か軽症ぐらいでええですよ、分けるとしてもそのぐらいで、近所の独居で住まわつとるお母ちゃんたちのところをちょっと直してですね、そういうとこでみんな近所の人やれるようにすればどえらい安くできますよ、これ。ごまかしがきかんし。ただ、近所の人に見てもらいたにゃあという人もいますけどね、これ問題は。
- だから、ドイツと日本だけですけど、ドイツは現金給付に、家族がやった場合何で金が出んのだいうことになるわけですよ、これ。ほうでしょ。老老介護の話が出ますけど。だで、向こうは現金給付を認めたはずですけどね、たしか。そういうとこで、そもそも無理があった仕組みなんですわ、これは。天下り団体ばっかぎょうさんできて、まあこれ。ということですよ。
- 住宅をようけつくれということでございますが、精いっぱいにつくつとるんですけど、これどうだ。後でちょっと答えていただいて。
- 牧野公園、大人のをつくつとらうれしいということでございましたけど、これはなかなか、褒めていただくのは初めてでございますので、貴重なご意見でありがたいことだと思えます。
- 4人目の方の少子化ですけど、これはやっぱり本当は一番問題なんだよね、これ。ほんで、目標をつくるかいうことだけど、単純に自然増のほうですね、子どもをようけつくりゃあという主張はですね、なかなかこれちょっとやりにくいんですわ、やっぱり。だで、とりあえずは社会増のほうですか、就職にようけ来てもらえるようにという目標ぐらいはまずつくろうかなとは思つとりますけど。
- 結局やっぱり大きいのは、経済的にやっぱり安心ができるように、子どもさんを生んでというのが普通だわね、これが。そういう面では、名古屋はどえりゃあ恵まれておりますよ、これ。保育園もみんな入れるし、減税までしとるということよ。欲を言や切りがないけど。
- それと、フランスが有名ですけどね、子どもをようけ生むようになったと。これはあんまり言うと感じ悪いけど、いわゆる結婚しとらんでもええというですね、そういうような広い心が広まりまして、それで増えたというふうに結構言われとる。大体間違いないだろ、これ。間違いないと思えます。こういうとこで変なこと言うと政治生命終わつてまう可能性があるんで気いつけないかんですけど。
- それはええかどうかね悩ましいとこですけど、少なくとも子どもさんにはどえりゃあ優しくして、経済の力を落とさんように、名古屋は。ものすごい熱を入れとるわけですよ。それと、子ども応援委員会いいまして、日本中で名古屋しかないですけど、子どもさんとおっかさんの悩みに専門職がちゃんと答えるというのは日本中で名古屋しかないで

すわ。今 125 人おりました、この 4 年間でもう 8,000 人ぐらいの子どもさんを勇気づけとると。そうなってくると、もう 1 人子ども生もうかなとも思ってもらえるしね、これは。そういうことで精いっぱいやらせていただいておりますけど、数値目標を一定のつくるというのは、僕は社会増のほうは賛成ですわ、自然増のほうはなかなか、ちょっとこれね、いろいろ大クレームが出る可能性がありますんでというふうになんかちょっとたじろいどるところでございます。

- ・大体以上です。

【コーディネーター】

- ・補足を事務局からお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

【企画調整監】

- ・3 人目の方、特養の問題についてご質問、ご指摘をいただきまして、ありがとうございました。
- ・実は私、この職の前が高齢福祉部長をやっていたものですから、特養含めて、それをどういうふうにしていくかということを考えてきた責任者でございましたので。
- ・今、特養はかなりつくらせていただいております。ただ、実際には待機されている方が 3,500 名、名古屋の中でおみえになりまして、その中で在宅で待ってみえる方が 1,300 名おみえになるわけです。そうした状況もありますので、市長にもお願いをいたしまして、この 3 年間でさらに 630 名分の特養の整備をいたしまして、全体で 8,900 人の方々が特養に入れるような確保をしたいと、計画を持っているといったことでございます。
- ・制度が変わりまして、要介護 3 以上の方が特養に入るといった状況でございます。介護保険をやり始めたころには 1 万人を超える方が待機しておりましたけれども、現在在宅で待っている方が 1,300 名、実際には大体 1 年弱ぐらいで特養に入れるような状況にまで来ておりますので、これからも整備してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。
- ・整備に当たりましては、どうしてもやっぱり在宅に比べまして、施設をつくりますと介護保険料がだんだん高くなっていくといったこともありますので、ニーズをしっかりと踏まえながら、保険料とのバランスも考慮しながらこれからの整備をしてまいりたいと考えております。
- ・少子化の問題につきましてもご指摘をいただきました。4 人目の方、ありがとうございました。こうした会でもお聞きしておりますけれども、実はお母さんだけ、あるいはお子さんだけ、家庭を持っている方からも十分ご意見を頂戴いたしまして、そういう方の声も反映したような次の計画にしてまいりたいと考えております。
- ・現在、名古屋市の出産数 2 万人弱、ここ数年ずっと 2 万人弱で推移しております、落ちているわけではございません。それから、合計特殊出生率、女性の方が生涯で何人生まれるかといった出生率がありますけれども 1.44 で、国よりもかなり下回っていたんですけれども、これが回復しております。国と同レベルになっておりましたので、この流れをとめないように、次の計画につきましても少子化対策をしっかりとやってまいりたいと考えております。

- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・時間の関係で、またこのテーマについては最後に時間をとるということを申し上げましたけど、そこでご発言いただけたらと思いますので、引き続き第2番目のテーマ、都市像3「人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち」と都市像4「快適な都市環境と自然が調和したまち」、この2つを1つのテーマとして皆様方からまた4名程度ご発言していただけたらなと思いますので、挙手をお願いしたいと存じます。いかがでしょうか。
- ・一番最初に挙がりました。
- ・お住まいとお名前をお願いします。

【5人目（中村区）】

- ・消防団の団長をやっています。
- ・我々消防団で今非常に困っていることが1つありまして。実は、名古屋市の風水害等災害対策計画の避難というところに、風水害というんですから大雨が降ったときとか台風のときを想定されているんですけど、避難指示が出たときに消防団は広報に回れということが指示されております。避難指示が出てるのに、そんなときに消防団が回ったら消防団自体が被害に遭っちゃうんじゃないかということで、防災危機管理局に確認したんです。そうしたら、最初のうちは「ああ、そうだね」とかって言っているんですけど、実はこの書類をつくっているところに聞いたら「直さない」「直せない」ということを言われました。その人の名前を具体的に言ってもいいんですけど。
- ・防災危機管理局のほうに、なぜ直らないのか。自分たちは絶対に危ないと思ってるんですよ。消防団が風水害で避難指示、避難勧告じゃないですよ、避難指示が出てるのに、みんな避難してくださいと言っている間に、避難しなさい避難しなさいって消防団が広報車で回ったとらとんでもない話だということがあって非常に心配しているので、その辺のところちょっとはっきりとお願いしたいと思います。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・続いて、先ほど手が挙がりましたね。
- ・すみません、お待たせしました。マイクをお持ちします。
- ・お名前、お住まい、よろしくをお願いします。

【6人目（中村区）】

- ・うちの町内では、75%が1DKになっちゃいまして、その方々に町内会への参加を呼びかけているんですが、全く一切合切来てくれません。管理会社へも言っているんですが、ほっといていただければいいですというのが管理会社からの話です。
- ・災害が起きたときとか何かのときに、例えば暗証番号を教えてください、小さな会で

したら、大災害のときには救急車が来てくれないので我々も助けに行けると思うんですが、暗証番号がわかっていないと目に見えていた火事ですら近場の人が火消しに行けないという話でありますので、要望事項としては、市並びに区の方々が管理会社等へ通じていただいて、もっと地元の町内とかそういうところへ密接に関係を持って、いろんなことについて教えていただけるものであれば、暗証番号等を教えていただければ、願わくば住民の方のせめて名前なんかでも、75%の方が町内会長をやってても全くわからない、顔もわからないという状態が続いていますので、できたらそういうことでお願いできればと思っております。

【コーディネーター】

- ・今言われた暗証番号って、何の暗証番号ですか。

【6人目】

- ・部屋の中に入っていく暗証番号、中に入れたいんですね。

【コーディネーター】

- ・マンションの入り口の暗証番号ということですか。

【6人目】

- ・だから、火事が発生してても中に入れないので、消してあげようと思っても消せないというのが、これから大災害が起きたときにも発生する可能性があるし、助けに行こうと思っても助けに行けないというのがありますので、その辺のことで。秘密事項でマル秘で守りますので、せめて暗証番号ぐらいは教えていただければと思っております。

【コーディネーター】

- ・わかりました。どうもありがとうございました。
- ・ほかに、このテーマにつきましてご意見ございませんでしょうか。
- ・お名前とお住まいを。

【7人目（西区）】

- ・3、4のテーマで。
- ・私は、地域の炊き出し訓練ということで、ほかの町内と一緒に、ちょうど今年で6回目なんですけどやっている中で、ご提案したいとかご提言したいとか、1つございますので。
- ・それは、災害が必ず起きるだろうという想定の中で、炊き出し訓練しているもともとの発端が、やっぱり少子高齢化ということで担い手不足。地域の、そして社会的なニーズの、こういう多様化時代を迎えて、そういった課題が山積しているということで、当時のまちづくりの期待が高まっておりました。
- ・当時、そのような状況も踏まえて炊き出し訓練を始め、その成果として6回目となる今年、それぞれの災害に対する技術の向上、住民同士の触れ合いを通して地域のつなが

りの輪が広がっていることがわかりまして、今後の災害に備えたまちづくりへの基盤強化につなげることができるものと確信しております。

- ・しかし、その中で、来年度以降継続する課題も増えてきまして。それは、施設整備が必要になってくるということで。まちを散策していますと、公園等に防災倉庫がところどころ増えつつあるかなと思っております。これは非常に私どもの町内としても意見が、貴重な意見ということで、先般町内会合同でやったときに意見がありまして、学区のほうへ提案するつもりでおります。
- ・その内容的には、高齢者の対策も含めて、炊き出し訓練のときの椅子の用意とか、そういったものも含めて、テーブルを含めて、さらに保健所等のご指導もありまして、ちょうど人数的にも100名を超える炊き出し訓練ということで、安全上のことも含めて、衛生上、流し台の設置等、指導を受けております。そういったものを訓練時に可動式にして使えるようにする、そしてそれを防災倉庫に備蓄するという方法が、今後非常に必要性が高まってきているかなと思っておりまして、その件をご提案させていただいたわけでございます。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・最後、もう一人の方、もしございましたら。
- ・お待ちください。今挙手されている方、今マイクをお持ちします。
- ・お名前、お住まい。

【8人目（中村区）】

- ・中村区が一番西南角に位置する場所は、隣には庄内川が流れています。私がお聞きしたいのは、JRの関西線と庄内川の交差しているところがあるんですね。その関西線があるがために、堤防の高さが洪水になったときの危険水位を下回っているんですよ。堤防の高さを高くするとして全体的には高くしたんですけども、関西線と交差している部分は危険水位より低いんです。
- ・私がお願したいのは、名古屋市自身がこういうことできることじゃないのはわかるんですけども、関西線の高さを高くしてほしい。そして、堤防をほかのところと一緒にしてほしい。その部分だけ一般的な堤防の高さより1.5メートル低いんですよ、非常に危険な状態です。ぜひこの辺を解決してほしいというお願いです。
- ・名古屋市全体が水没と言ったら大げさかもしれないですけど、少なくとも名古屋駅までは水浸しになるでしょうという状況であります。その周辺に住んでいる人は、台風のシーズンになるといつも、台風が近づいてくるとすぐに堤防へ上がってその状況を見に行くんですよ。5人10人、いつも台風が近づくと話が入ると見に行っている。皆さん承知しているんですよ。いろいろお願いしても、土木にお願いしても、関西線にお願いしても、私は意見を言う立場じゃありませんとかいう話が返ってくるんです。ですから、名古屋市からもぜひこれを要望していただきたいなという思いです。
- ・よろしくどうぞ。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・ただいま4名の方からご意見いただきましたので、まとめて市長並びに事務局からご回答をお願いしたいと思います。
- ・5人目の方から、消防団に属しているけれども、避難指示が出た後、消防団が広報車で回れというのは非常に危ないと。防災危機管理局、なぜそういうふうになるのかと、その辺のところの対応を直してほしいと言っても直っていない、なぜなんだということでございました。
- ・6人目の方からは、町内会ですかね、1DKが75%と非常に多い状況の中で、いざ何かあったときには対応したいんだけど、入っていく暗証番号等々、その辺のところ管理会社との関係がうまくいっていないので、市、区、何とか密接に地元と関係づくりをするように対応してほしいという要望でございます。
- ・7人目の方からは、現在炊き出し訓練をしておられるのですが、最近公園に防災倉庫等々が整備され、これは非常にいいことなんだけれども、それにあわせて炊き出しに対応できるような備品といいますか、そういうものも含めて倉庫の中に入れていただいて、いざというときに対応できるようにしたい、これが要望でございます。
- ・最後に、8人目の方から、庄内川とJRの関西線が交差するところで堤防が通常よりも1.5メートル低いので、恐らくこれ大雨が降ると大洪水になってきて、そこから決壊して大問題になるんじゃないか。その辺の対策をぜひやってほしいというご意見でございました。いかがでしょうか。よろしく申し上げます。

【市長】

- ・ありがとうございました。
- ・消防団の5人目の方でございますけど、なかなか悩ましい問題だな、これは。東北の震災で消防団の人がようけ亡くなられたですわ、みんな自分で見に行くもんで、これ。危ないことを承知ですわね、ほんでようけ亡くなられた。だで、危ないでそりゃ、どっちかいったら避難してもらわないかんわな、それ。だで、一遍ちょっと。しかし、消防団ということお願いしとるもんだで、どこの限度まで。女の人でありますがな、あれは消防の人か、区役所か、東北で最後まで避難してくれ言って残って亡くなっちゃった方がみえますわね。そういうこともいかんし。一遍ちょっと相談しますわ、これ。危ないで、これは本当に。実際たくさん亡くなられとるからね、東北では。わかりました。
- ・6人目の方の、ワンルームマンションがどえりゃあ多いがと。だで、一遍管理組合と役所が入って相談、区長、一遍したらどうだ、ほんで一遍相談、これ。

【区長】

- ・区役所にご相談いただければ。一緒に行くとか。

【市長】

- ・相談いただければ言っとるけど、大体わかるだろうで、自分のほうからよ。一遍やっぱり役所がちょっとかむと、若干ええかもわからんしね。

【区長】

- ・はい。

【市長】

- ・じゃ、区長にやってもらいますわ、とにかく。お願いします。
- ・7人目の方の炊き出し訓練ですけど、これ、確かに防災倉庫をつくりゃ、そこに炊き出しの道具もせっかくだで入れといてもらおうとええと思えますけど。
- ・今度ちょっと、今ちょこっとやりかけたところあるけど、日本でこれも名古屋初めてだけど。実は学校の入り口までは、上下水というのはいわゆる耐震配管で行っとるんですわ、これ実は入り口までは。ほんで便所なんかは、そっからが行っとらんのですわ、学校の中が。だったわけ。だから、トイレなんかでも学校の入り口のところにシェルターみたいなものつくって、そこの中でトイレつくろうか言っとったけど、よう考えてみたら何でつながんのだと、学校の便所、給食所、保健室があるじゃないですか、もっとすごいのは。けがなんかしたときに。ということで、今年からもちいとはやる言った。まっと一気にやれと。
- ・中村まで入れると、中村、中川、港、南ですね、ここら辺の、現実的に伊勢湾台風で被害があったようなところは。だから、今言われた話は、炊き出しも公園でやってもらうのもありがたいけど、学校の給食所を使えるといいですよ。まっとほかの子ども食堂でも使えるようにしよまい言ったったんだ、わし。なら、文部省がどうのこうの言って。文部省に一遍電話かけたったわ、何言っとんだいって。なら、ぐちゃぐちゃぐちゃぐちゃ言ってましたけど、入るときに検便か何かやってもらわないかんとかですね。それは徹底的にやっとののかと、ほんとに衛生管理を。それと、普通のところも行くじゃないかと、子どもや何かでもみんな飯食いにですね、これ。
- ・ということで、公園の防災倉庫にも置くのはええと思えます、今言った話。だけど、学校のやつ使おまい、学校のやつを。4階ぐらいまであるとすると、1階だけでもきちっと外の配管とつなぐとですね、そりゃいざというときにすごい便利ですよ、これ。みんな飯がつかれるし。繰り返しますけど、やっぱり保健室があるもん。トイレもありますしね。これ、大至急今進めとるところでございます。
- ・関西線、8人目の方。これわしも知らなんだで申し訳ないけど。これは、しかし1.5メートルも低いというのはとんでもないじゃないですか、これ。1.5メートルも低かったら。ほんで、土木に言ったら「俺らは言う立場じゃない」って誰が言ったんですか、そんなとろいこと。ほんとに。とんでもないですよ、それは。それはやっぱり土木だろうが何だろうが、皆さんのやっぱり安全を守るのが仕事で、そのために公務員やっとのんだでね、これ。だで、一遍ちょっと調べまして、ほんで僕のほうから JR なら JR にね、まず要望書になるのかどうか知りませんが、早速これ手続をとりたいと思えます。
- ・1.5メートルも低かったらえらいことだがね、これ。先ほど言っとったけど、昭和30何年に一遍庄内川が切れてこの辺まで全部水没したことがあるそうでございますのでね、そりゃちょっとほっとけん問題ですわ、これは。わかりました。

【コーディネーター】

- ・事務局から補足をお願いいたします。

【企画部長】

- ・企画部長でございます。
- ・一番最初に、まず消防団の関係のお話をいただきました。東北のときは津波のことでああいうふうにならなくなった方がいたということで、逃げ遅れて、職務に全うしてということで残念ながら亡くなられたという方があるんですけど、今お話しいただいたのは避難指示ということなものですから、水害も含めてという意味だと思います。
- ・そういう意味でいくと、危険な状態に消防団として一体どういう状態までやるべきなのかという部分で非常に悩ましい部分もあるんですけど、市長も申し上げていましたように、一度ちょっとこれは調べさせてください。私のほうでも防災危機管理局で一度確認させていただきますし、記述の内容もちょっと確認させていただきたいと思います。お願いいたします。
- ・それから、6人目の方からいただきました。まず1つ、町内会になかなか参加していただけないという部分がございます、ここの部分非常に苦勞されているということでございます。このあたり、後でご意見いただいた7人目の方の意見と重なる部分も非常にあるかと思うんですが、まず管理会社の関係は、先ほど区長さんもおっしゃったように、個別にはそういうところの関係があるんですけど、恐らく全市的な問題になっているかと思います。とはいいいながら、なかなかプライバシーと災害対策のはざままで皆さん悩んでいるところだと思ひまして。これもちょっと全市的な課題だと考えさせていただこうかなと思っております。
- ・ちなみに、これちょっと町内会なのでいろいろとやっぱり差がありまして、例えば町内会名簿に1つひとつ皆さん世帯の電話番号が載ってて、これが皆さん方の町内に回されている町内もあれば、そうじゃないプライバシーを守る町内もあるということで、なかなか悩ましい部分でございますが、こと災害に関しては、これから先災害対策を進めていく上でのご理解もいただかなきゃいけない部分かなと思ひまして、全市的な課題だと思っております。
- ・7人目の方のご意見は、炊き出し訓練ですね、こういうものを通じて皆さん方のコミュニティを活性化させようという部分も1つあるかと思ひます。現実に炊き出しをやることによって、実際被害に遭ったときにも役立つでしょうしということで、こういうことがひとつの、防災対策のみならず、地域のコミュニティ活性化にも役立つと理解しておりますので、こういうことを進めていければなと思ひています。
- ・ちなみに、私の住んでいる北区の学区でも同じようなことをやっております。米まであるという部分で、そういうところでしっかりやっているんですけど。
- ・ただ、公園の中に倉庫という部分につきましては、実は公園という部分も非常に難しい部分がございますので、なかなかすぐにやれるという部分がまだ難しく課題が大きいかなということ。それから、設備、施設についてとか、いろんな備品等についてもという部分になってくると、なかなか一足飛びにはいかんのかなというのがございますので、ご趣旨はわかりましたので、コミュニティ活性化のためにも進めていければなと思ひて

おります。

- ・ 8人目の方、この件につきましては、恐らく JR があって、庄内川ですから国管理河川になりますので、その部分はいろいろなものが交錯しているんじゃないかなと思います。市長が今申しあげましたように、一度ここも調べさせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。
- ・ 以上でございます。

【市長】

- ・ 今言った、東北では消防団が逃げ遅れたんじゃないなくて、自分で使命で水門を閉めに行ったんですよ、多くの人たちが。ほんで死んじゃった、みんな。そういう大変な悲劇が任務を遂行する上で起きたということ。
- ・ わし言っとるのはね、役所が戸別訪問しろと、とにかくまず一遍と。皆さんばっかに頼っとらんと。喜ばれる。今ここでしゃべったたら、この間ブロック塀で区長が戸別訪問したらものすごい喜ばれたって言ってましたんで。そういうことですよ。これ、役人が家庭訪問するとみんな喜びますよ、これ。初めは職質されたと思うかわかんけどね、これは。そういう場合もあるけど、予防ぐらいになってええ、それはそれでええと思いますし。今それを全区で言っとるんです。特に先ほど言ったゼロメートル地帯でもないんだけど、中村、中川、港、南ですね、ここら辺は行っても。皆さん要求しとるの大したことないですから、こんなのほんとに。そのくらいまでやってちょっと、頼むで。

【コーディネーター】

- ・ どうもありがとうございました。
- ・ それでは、時間の関係で次に移らせていただきます。
- ・ 最後に、都市像5「魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち」と、その他として次期総合計画中間案に関してどういう分野からでも結構ですということでご意見をいただきたいと思います。
- ・ 先ほど先送りさせていただきましたけれども、ご発言お願いできたらなと思います。しばらくお待ちください。マイクをお持ちします。
- ・ お住まい、お名前、よろしくお願いたします。

【9人目（愛西市）】

- ・ まず最初に、今日、市長に直接物を尋ねれるというか、そういうことまで期待していなかったんで、今日来てよかったなと思っています。
- ・ 私は愛西市から来ました。愛西市ですけど、私は名古屋生まれの名古屋育ちで、名古屋のことを語るのであれば自分を差しおいてほかにはないぐらいの意気込みで今日やってきました。
- ・ めざす都市像ということでの提言ということですけど、最初ちょっと提言したいなと思っていたことと、またちょっと違うことを今ちょっと思ったんですけど。最初の1番、2番のことにリンクしてくるんですけど、タウンミーティングというのは単なる陳情の場所じゃなくて、名古屋の未来像についてどうしていきたいかということ提言する場

所でもありますよね。そうありたいと思っているんですけど、この中で最初の1番2番、高齢者、障害者、子どもというかそういうテーマがあったんですけど、どうせ名古屋の未来を語るのであれば、日本全国どこもやっていないようなことにチャレンジしてほしいなというぐらいの気です。

- それは、例えば都市部における小学校、中学校の少子化における問題というのかな、それにもリンクしてくるんですけど、空き教室とか、場合によっては統廃合みたいなことにもかかわってきますよね。そういった場所の、これからもっと地域の拠点になり得る場所として、カテゴリー別に高齢者、障害者、子どもと分けるんじゃなくて、例えば保育園一つとっても迷惑施設になり得るような状況も今出てきていますよね。だったら、そういった場所をもっとうまく使って、いろんな人がその場所に集まってこれて、過ごせるようなものにチャレンジできないかなと思っています。
- 縦割り行政の中でどこまでできるかというのがいろいろあって、課題も多いだらうと思いますけど、決してカテゴリーで分けるんじゃなくて、いろんな人が集まって。例えば、さすがに老人ホームをつくれとまでは言えないですけど、高齢者のデイサービスのものがもし併用できるならそういうところに来てもいいし、学校の一角を使って、多少のニーズ、10人20人でもいいですけど、保育園的なスペースをつくったりとか。それから、障害者にとっても、支援学校というかそういうところに行くんじゃなくて、できれば地域の中でそういう受け皿みたいなものがあるのもいいんじゃないかなと思っています。だから、そういったもののこれからのあり方というか、そういうのについてもっと考えてほしいなと思っています。
- あと、名古屋の未来というか、特に観光都市とか産業についてですけど、主に3つあるんですけど。
- 1つは、河川の浄化です。名古屋には中川運河とか堀川とかがありますが、ワールドワイドに発信する河川が名古屋にはありませんよね。例えばパリだったらセーヌ川とか、ロンドンだったらテムズ川、京都だったら鴨川、桂川という、名前が挙げられるような河川がありますが、名古屋には、堀川とか中川運河、何って。もっと浄化してきれいな川になればもっと発信できる、人を集められるというか、そういうのになり得ると思うんですよね。
- 例えば堀川一つとっても、名古屋城にまでアクセスできるぐらいの未来像というか、そういうものもあっていいと思うし、もう1つ、この間たまたま歩いて思ったんですけど、名古屋城の外堀も文化遺産というか観光資源にもなり得るものだと思うんですよね。テレビ塔周辺の再開発とかいったものも今提言されるようになってきていますが、それも含めて、外堀というか、そういうものももっと視線を受けれたらいいなと思っています。

【コーディネーター】

- どうもありがとうございました。
- ほかにもしご意見がなければ、補足を後でもらいますけど。
- お名前、お住まい、お願いします。

【10人目（中村区）】

- ・最近名古屋が魅力のないまちとかなんか言われて順位が出ているのがとっても心外なんですけれども、その一番の原因というのは名古屋市民にあると思います。名古屋市民が名古屋のすごいものを知らずに名古屋には何もないと、それを全国に吹聴して回っているのが私は一番いけないと思うんですね。
- ・名古屋の子どもたちというのは、幼稚園から小学校から東山に毎年行く、水族館に毎年行く、つまりそれが標準なんですよ。でも、名古屋港水族館は水量日本一だし、東山も飼育数は、種類でいえば日本一なんですよね、断トツで。でも、それが標準なのでこんなもんだと思っちゃってるんですよ。だから、東山のすばらしさとか水族館のすばらしさ、徳川美術館のすばらしさ、要するに熱田神宮のことも何も知らないですよ、子どもたち本当に。だから、そういうことを小学校とか小さいときから、1年に1回でもいいから名古屋のすばらしさを教える授業をまず取り入れたらどうかなと思うんですよ。そうすれば、小さいときから「名古屋ってすごいんだぞ」っていうことが言えるので。何もないってあり得ないと思うんです。それがまず第1点。
- ・それから、今オアシスとテレビ塔の写真が世界中に出回って、大人気になっています。でも、テレビ塔は1月になってから1年半ぐらいたしか改修になって、電気がとれないから消灯しますというニュースを見ました。絶対にそれはだめだと思うんですよね。せっかく今世界に発信して、オアシスに来てくれて、オアシスを撮ったら向こうに黒い建物があるというのは本当に損失だと思います。だから何とかして、その周りの商店街の方たちも何とかしたいということを書いてみえたので、何とか名古屋市も力を添えてテレビ塔に、せっかくいい照明にしたのですから、それとオアシスの写真を世界にどんどん発信してもらおうということもなくしちゃいけないと思います。
- ・芸どころ名古屋とずっと言われてきたのに、最近、美術館はなくなるわ、劇場はなくなるわ、一体どうなるかと思うんですね。名古屋の人たちはいい舞台があったら西へ東へ、東京へ大阪へすぐ行っちゃいます、近いですから。ということは、名古屋にいいそういう舞台とか何かがあれば来てくれるはずなんですよ。いいものがあれば、ファンは絶対に行きます。こんな交通の便利なところなのに、行くことばかりで、来てもらうというふうになっていないのが本当にもったいないと思います。だから、そのあたりのところを何とかしてほしいと思います。
- ・あと、これはとっても簡単なことなんですけど、名古屋城で今、金シャチ横丁ができてとっても滞在時間が増えて、にぎわいも増えてきて、とてもいいことだと思っています。宗春ゾーンのほうは名古屋市役所の地下鉄に行くところなので誰でも通るからいいですけど、義直ゾーンのほうが名古屋城から道路を渡った反対側のちょっと東のほうなので、ちょっとわかりにくいんですよ。あそこの正門のあたりからもっと大々的に、義直ゾーンで食べられますよというのをすごくやるといいかなと思います。
- ・たまたまこの間見たんですけど、せっかく忍者隊の人たちがいろいろ回ってても最初のところだけでアナウンスをして一緒に写真を撮りますよとかいうことを言ったんですけど、その後、太鼓をたたいて歩いているだけだったので、何なんだろうなという感じでみんな見ていただけだったので。せっかくそこで一緒に写真撮りますよというんだったら、言いながら行くといいなと思って。ちょっとそれがもったいなかったなと思って

います。せつかくの名古屋城なので、もっとにぎわいを増やしていただきたいと思えます。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・続いて、あとお二方で4人ぐらいになるんですが。
- ・すみません、お二方指名しますので。まず手前から。
- ・お名前、お住まい、よろしくお願ひします。

【11人目（中村区）】

- ・私、たまたま区政協力委員をさせていただきまして、今やっておるところなんですけれども、戦略2の「みんなで作る！「地域コミュニティ活性化戦略」の②のところに「地域の多様な担い手の育成・支援」と書いてあって、計画としてはそうなんでしょう。
- ・先日いただきました広報なごや11月号に市長さんと区政協力委員のお話が載ってて、なり手がなくて、えらい仕事だなと。だけど、みんなの顔知ってるからつながりができれば、防災もよくなるし、ふるさとに奉仕する感覚ですねっていうインタビューを読ませていただいて、深く感じるところがあるんですけども、区政って、やっぱり12年後を見渡してグランドデザインを書いて、具体的に現場サイドまでトップダウンした実際の行政からのいろんな施策を住民とのパイプ役としてやるんだけど、もうなり手がおれへんです、はっきり言って。
- ・皆さんきっと、こういう未来を考える人たちだから、「未来の年表」って講談社現代新書であって、とても怖い未来が載っているのをお読みになったことあるかと思うんですけども、本当にうちの町内なんかだと4人に1人ぐらいが69歳だったりする。別の観点からいくと、新成人に案内を配りなさいとって区政協力委員が案内書を持っていくんですけど、私の担当6人のうち3人の方がベトナムから来た人で、日本語のお役所言葉を書いてどうぞと言ったってちょっと無理だと思います。
- ・なので、5番目に「世界から人や企業をひきつけ国際的に開かれている」、そういう計画ならば、もうちょっと現場サイドのほうに多く、もう既に多くの外国人の人がいらっしやっている。だけど、日本人の人はどんどん高齢化していく。先ほどの少子化のこともあるんでしょうけれど。なので、ボランティアでふるさとに対する貢献というか、そういう恩返しするという感覚だけに頼っていると、近い将来間違いなく破綻すると思う。ゴールラインの12年後、かなり大変な世の中になっているのを危惧します。杞憂にすぎればいいんだろうけど。
- ・やっぱり50年前に制度設計された区政協力委員、災害対策委員というものを、次の50年このままではちょっときついなんじゃないかなと。もう一遍ゼロベースで、本当にあったらいいなというものをどんどん積み上げていって、全部こっちに、区政に丸投げしときゃ何とか回るぞというふうだとパンクしちゃいます。だから、あったらいいなレベルのものはなくて全然構わない。だから、本当に何が必要かというのをこれ機会に、いいアクティビティだと思うので、中間案を最終案に持っていく中でよく検討していただきたいと思えます。

- ・ありがとうございました。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・すみません、時間の関係で最後になると思いますので。
- ・どちらが先に挙げられたんだっけ。どうぞ。
- ・お名前をお願いします。

【12人目（中村区）】

- ・前回のときにもちょっとお願いしたんですが、せっかく概要版のパンフレットをつくっていただくもんで、例えばということで、もうちょっと具体的な計画を知らせていただく和一層わかりやすいかなと思いますので、しつこいですけれども、その要望は1つお願いしておきます。
- ・もう1つ質問ですが、最初の説明の中で、取り巻く状況ということで、リニアが来たときに名古屋が活性化するか、それともストロー現象になるのか、2つ書いてあるので、どっちなのかその辺の認識をはっきりした上で総合計画をつくるべきだと思いますので、その辺の認識はどうか明確に答えていただきたいということが1点です。
- ・もう1つは、冒頭にもありましたけれども、名古屋のおいしい水という話が。それで、最近マスコミや何かでも騒いでいますが、今国会でも水道の民営化法案が審議され、衆議院では通ったのかどうかという話らしいですけれども、世界的には、フランスをはじめとして民営化したところは失敗だったということで、今国営に戻しとると。よく言われるのは、民営化すると料金が今の2割3割というのは単純になるだろうと。名古屋市も豊かな財政力はあるわけですので、ぜひとも市長に、名古屋市は水道事業についてきちっと一から十まで名古屋市の責任でやるということを明言していただきたいというのが私の要望です。
- ・もう1つは、リニアに関連して、よくあるコミュニティの問題や人権の問題ということで出ていますけれども、残念ながらリニアの開削工事の中で、ある学区の町内は10世帯ぐらいはやっぱり移転させられるということで、その地域でコミュニティも破壊されるということが起きているわけですので、本当に総合計画の中で地域の開発をしていく上で、長年住みなれた人たちを追い出して進めていくのはどうかと考えていますので、今後その辺は、市長さんはやらないと思いますけれども、念のためをお願いをしたいと思います。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・すみません、ちょっと時間の関係で。

【13人目（中村区）】

- ・手短にやります。

【コーディネーター】

- ・最後です。手短にお願いします。
- ・お名前、お願いします。

【13 人目】

- ・先ほどリニアの話が出ておりましたけれども、リニアは名古屋だけがメリットを受けるんじゃないくて、愛知、岐阜、三重全体がメリットを受けられるように計画を進められることがいいかなと思います。
- ・もう1点は、先ほど庄内川と関西線の交点のところを言われましたが、同じようなことで、JR 東海も同じようになっているような気がしますので、調査をそちらのほうもひとつよろしくお願ひしたい。
- ・以上です。

【コーディネーター】

- ・すみません。本当に簡潔にまとめていただきまして、どうもありがとうございました。
- ・5名からご意見いただきました。それぞれ、市長並びに事務局からお答え願ひたいと思います。
- ・9人目の方からは、いわゆる小中学校の統廃合含めて、空き教室があるので、それをむしろ縦割りでない地域の拠点となるような有効活用をしてほしい。それから、観光推進に当たっては、河川の浄化と、外堀をうまく活用して行ってほしいという要望がございました。
- ・10人目の方からは、名古屋は魅力がないというのは非常に心外で、それは徹底して小さいときから名古屋のすばらしさを授業に取り入れて勉強すべきであると。オアシスとテレビ塔でワンセットでインスタグラムで世界に発信されている、そのテレビ塔がライトがつかないと全然そういう発信もなくなるので何とかしてほしい。芸どころ名古屋については、舞台があれば人は来るので、ぜひいい催しを名古屋でもらいたい。金シャチ横丁も、義直ゾーンがPRし切れていないから、もっとそちらに人を集めるようなPR、対策を打つべきだろうということでした。
- ・11人目の方からは、区政委員のなり手が非常にいないと。一度やはりこの50年前に組み立てられたこの制度を見直した形で地域の担い手を育てていく必要があるんじゃないかということでした。
- ・12人目の方からは、パンフレットをもっと具体的に内容を書いてほしい。リニアが来たら名古屋の活性化につながるのか、ストロー現象になるのか、立場を明確にして施策を出してほしい。おいしい水、これはぜひ市営でやってほしい。最後に、リニアがコミュニティを破壊しているという現状もあるので、その辺のところの対策もよろしくお願ひしたいと。
- ・13人目の方からは、リニアというのは、名古屋だけではなくて、愛知、岐阜、三重全体が利益、メリットを享受するような政策が必要だし、庄内川との関係の先ほどの堤防の問題も、JR 東海道線についても同じような問題があるので、それもチェックしてほし

- に博士か何か知りませんが、大体 2~3 年やっただけのやつですわ、ほとんど。昔からそういうこと言ってきたもんで、新しいことやらんと。だと僕は思いますけど。
- ・外堀もおもしろいんですけど、あれ虫おるもんでよ、あの辺のところに。ああいうのむちゃくちゃ破壊してはいかんでね、これ。考えないかんとおもいますけど。
 - ・10 人目の方が、魅力はない名古屋は名古屋市民がいかんっていう話ですけど、いかんことはないけどよ、わしもね、正直言って名古屋城は燃えてまったし、あと役人は道路ばっかつくったし、ほんとに。まあね、これどうしてくれると、この名古屋のまちは。ちょうどこのコーディネーターの先生がおみえになりますけど、名古屋学院大学の井澤さんは、言ってもええ言ってますけど、名古屋のまちは消毒都市だと言ってますわ、毒を消したと。
 - ・これ、どういうことかいうと、名古屋の都心にあったお墓をですわ、18 万 9,000 基平和公園に移したんですわ。東京は 3,000 です。大阪は 2,000、名古屋は 18 万 9,000 ですわ。ほんで都心に土地をつくって、要するに路地をみんなぶっ壊したわけです、名古屋はわざとこれを。路地いうのは今人気ありますけど、昔はやっぱりじめじめしたとこで、東京なんかでも有名なね、正岡子規だとかああいうのが結核で死ぬわけです。だから、太陽がさんさんと降りしきる道をわざとつくったんです、名古屋は。消毒しちゃったんです、これやっぱり。だもんで、どうするということですよ。わしも毎晩考えとるがね。ほんで考えてきたまず第一歩は、やっぱり名古屋城の木造化をまずやらないかんと。やっぱり自慢のできる自分たちの都市のシンボルをね、やっぱり人に自慢のできるものにせないかんです、まずというのが、あれはスタートですよ。だで、今言われました動物園なり水族館でもええとこあるんですけど、何かあれですね、諦めムードというかよ。
 - ・芸どころ名古屋どうなったいうんだけど、やっぱりトップクラスが来るようにせないかんですわ。御園座がやれんようになったわけでしょ。財界が一応応援したもんでこれつないどるけど、こんなのひどい話ですよ、これほんとに。やっぱね、あんまり言うと感じ悪いか。東京歌舞伎座なんかだとフルメンバーでものすごおるわけです、周りも。役者そのものはトップが来ます、名古屋も。だけど、周りの全体的なあれがやっぱりね、ちょっと向こうのほうが多いんですよ、やっぱりこれが。そういうようなことで、やっぱりナンバーワン、八代亜紀が毎週コンサートやるととかよ。プラシド・ドミンゴでもいいですよ、テノールの世界最高の人が毎月一遍ぐらいコンサートやるととかね、やっぱりそのくらい人間が来るようにしないと、中途半端だとやっぱりいかんな、これ。それ考えとるの、わし。
 - ・お城の義直ゾーンが入ったところ、やっぱり確かにこれ盛り上げないかんもんで、いろいろこれも考えとるんですわ、これ。正門入ってってそれからずっと歩いてくでしょ、東に、あれ。あの間が寂しいでいかんわ、とにかく。あれね、金城温古録いうのに凶面はあるですわ、あの間、物置きみたいになつとるんですよ。それをまずやり直してちょっとでも雰囲気の出るようにせないかんちゅうんだわ。一応そういうふうに今考えとります。
 - ・11 人目の方の、区政でご苦労さんでございませう。なり手がおらんで、もう一回考えてみる時ではないのかということややりかけをしたのが、地域委員会でやろうとしたわけです、僕からすれば。選挙を一遍やりますと、やっぱり盛り上がるんですわ、みんな

参加しますから。地元のことを。あれは、やったところは全員喜んでますよ、わしずつと回ってったけど、やりやあた方は。初めは反対しとった人でもね、「やってよかった」言って。ほんで、やっぱトップ当選しますんで、区政の委員長なんかやると。「やっぱり選ばれるというのは違うな」言ってましたね、本当に。うれしいもんだいって。確かになって言ってましたけど、嫌いな人もおるもんで、結局ちよっとうまいこといかなんだということですけど。

- やっぱりちよっと立候補してもらって、ようけの人に手を挙げてもらって、そういう地域コミュニティに参加することが楽しいことだと、大変意義のあることだということなふうにしてかな。そのかわり、予算をつけてやりかけようと思いましたけどね。いろいろ初めのことだでなかなかうまいこといかんこともあったんだけど、やっぱりああいう仕組みは、学者なんかはすばらしいって言ってましたけどね、これは。
- 僕もあそこの立会演説会よう行きましたけど、ものすごく楽しいもんね。本当にそのまちのおばちゃんたちが自分でおもしろいもんつくってですね、立候補するでしょ、こういうまちをつくりたいってみんながやるんですわ、これ立会演説会を。ええなと思いましたね、これ。こういうのが民主主義の原点だわいって。日本はそこまで実は来とるんですよ、経済的には力があるから。だで、そう思ったんですけど。まあまあ、ほんとにちよっと考えないかんですわ。そっちに偉い様がお二人おみえになつとるで、広報なごやにも書いときましたし、ご苦労ばっかかけとつてもいかんしね、これ本当に。ようけの人が楽しんで参加できるようにするにはどうしたらいいということ。
- 今の仕組みは、ある程度固まっておられたら区役所か何か、一応専門のスタッフ、ただで使える、まちづくりか何かの今置いとりますんで、それで相談できたらええかと思えます。これ、中区で区政の偉い様たちが河村君いって、わしらに任せるのはええけど、やっぱりちよっとプロの相談できる人間つくってくれんと、やっぱどうしてもまちづくりいったって簡単にできせんだろういって。で、役所に聞いても同じことになっちゃう。だで、そういう仕組みも考えながらやつとるということですけど、もう一回ちゃんとこれはやらせていただきます。
- 12人目の方は、もっと具体的な計画を出せということ、それ言われたように、もともと一般的な計画ということでございますんで、申し訳ないけど、これは。
- リニアが来るとペケになるのか盛り上がるのかと。これは、やっぱりわしは盛り上がる言わなどうしようもならんもんだで、これ。ペケになる言つとつたら首になってまうがね、これ。だで、よっぽど気つけなかんですよ、特に大阪まで行ったとき。品川発大阪まで行ったときに名古屋飛ばしが起こる可能性は非常に強いですね、やっぱりこれは。名古屋でとまるかどうか大きいですからロスが、スローダウンしたときから大きいもんで。京都行くのにもね、品川から大阪まで行きますと、大阪までノンストップで来てまって、どこに駅ができるかもありますけど、そこから新幹線で若干京都に戻ると、そのほうが早くなる可能性があるって言ってましたね、これ。
- だで、名古屋はよっぽど楽しいというか、ちゃんと名古屋に来て東京から、1泊ぐらいしてくと、ちゃんと降りて。そういうのを必死になって考えないかんです、これを。だけど、あんまり役人の文句言っちゃいかんけど、東京と大阪の真ん中だし、トヨタ自動車があるし、給料はこの間までよかったしということ安気になつとるといのは事実で

すね、ぬるま湯だと言われております。大阪はその点必死だわ、これ。この間、万博もありますけど、大阪は必死ですよ、これ。という状況でございます。

- ・名古屋の水はうまいで民営化するなということですが、名古屋の水がうまいというのは、やっぱりうまいね、これは。この間、113歳まで生きた世界一の高齢の方が守山区に住んどったんですわ。わしが遊びにあって、「名古屋はどうだ」言ったら「水がうみやあ」って言わしたわ。世界最高齢の人が。だで、ええことだけど、民営化をすると何か悪なるというのは、わしはいつも怒っとんの、零細企業やってきましたから。やり方がありますけどね。今んとこ、フランスで言われたように、あんまり水道の民営化って成功してないと言われてますけど、浜松では下水のほうの民営化から始まりましてね、下水のほうから。だで、僕はやり方ではあると思うけど、単純な金もうけという、変なふうにはならせてはいかんいうことは確かです。せっかくうまい水飲めるんだで。世界最高齢の方が言っとったで、ほんとに。「名古屋の水はうみやあ」いって言っとらした。
- ・4番目のところがちょっと何、コミュニティがリニアで破壊されとるということですが、ちょっとようわからんけど、これはちょっとようわからなんだですけど。
- ・13人目の方から、リニアはやっぱり岐阜やなんかも盛り上げなかんいうのはそのとおりで、名古屋駅からどうやってアクセスが行けるようにするかというのは非常に重要な問題ですね。岡崎だとか岐阜、ああいうところは行けるようにせないかん。
- ・それから、堤防が低いのはJR東海、東海道というんですかね、そこも同じだというご指摘がありましたけど、さっき方は関西線ですけども、両方含めまして、これちゃんと。皆さんの安心・安全を守るのがわしの仕事だもんで、きちっとフォローします。

【コーディネーター】

- ・事務局から簡潔にお願いします。

【企画調整監】

- ・10人目の方、名古屋の将来についてご心配をいただきまして、どうもありがとうございました。
- ・市長からは役人が諦めムードじゃないかといった話もいただきましたけど、我々も悔しいと思っております。どんなアンケートをやりましても、名古屋が福岡に負けるんですね、どうやっても負ける。なぜ負けるのか。いろんな数字を見ても名古屋が圧倒的に勝っているんですけども、そういうことに私ども非常に悔しい思いはありますので、次の5年間に必死になって名古屋をどうするかということについて役人としても考えてまいりたいと思います。
- ・12人目の方から、リニアのことについて言われました。市長と同じなんですけれども、2027年に東京-名古屋が開通しまして、10年間は大阪まで行きません。名古屋が終点になりますので、この10年間で、どうやって大阪に追いついて、あるいは大阪を抜くかということについても真剣に考えていきたいと思っております。
- ・ただ、首都の力というのは非常に強うございます。大体3,000人ぐらいは名古屋市民が東京に吸い取られていると、年間ですね。ということもあるものですから、東京に追随することはありませんけども、やっぱり名古屋の独自性ということを発揮して、東京に

対する違った軸を必ずつくっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思えます。

【コーディネーター】

- ・ 区長、挨拶もありますけど、いいですか。

【区長】

- ・ 11 人目の方。本当に区政のほうでいろいろご心配とかご苦労かけて、本当にありがとうございます。心より御礼申し上げます。
- ・ 制度的に 50 年前から始まった制度が破綻しとるということで、私もいろんなところへ行くと、本当に区政の皆さんから地域の担い手が不足しとるという話は聞いておりますので、これは 16 区本当に共通の問題ですので、私どもも市のほうも何か考えて手は打たなかんということは常日ごろから考えております。ただ、なかなか具体的にどうしていけばいいかということが、まだここで申し上げるような段階ではございませんけども、問題点としてはしっかり認識しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【コーディネーター】

- ・ どうもありがとうございました。
- ・ 限られた時間でございましたけれども、活発なご意見、発言をいただきまして、どうもありがとうございます。13 名の方からご意見をいただきました。
- ・ それでは、区長並びに市長の順に、本日のタウンミーティングについてのご感想をお願いしたいと思います。
- ・ 区長さんからよろしくお願い致します。

【区長】

- ・ 続けて失礼いたします。
- ・ 本日は、本当に多数の皆様に出席をいただきまして、ありがとうございます。
- ・ 今まで 13 区でやったというふうに、ちょっと市長にお伺いしましたら、今までで一番多いということで、圧倒的に多いということで、本当に私も誇らしく思っております。ありがとうございます。
- ・ 今皆様方からいただいたご意見も、本当に中村区の中、また名古屋市の中、この地域でお暮しになっている皆さんの生きたご意見ということでお伺いしました。ありがとうございます。ぜひ今後とも中村区政、また名古屋市政にしっかり生かしていきたいと考えておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願い致します。
- ・ 本日はどうもありがとうございました。

【コーディネーター】

- ・ 続きまして、市長、よろしくお願い致します。

【市長】

- ・すみません。本当に圧倒的にナンバーワンの人に、皆さんに来てもらって、サンキューベリーマッチという。顔を見とりますと、なかなか温かい方が多いなど、庶民的と言ったほうがええのかわかりませんが、そういう中村区でございます。
- ・わしも庶民的、ぼろぼろの居酒屋で飲むの大好きだもんで、この間も大門のがたがたの飲み屋で一杯飲みましたけど。皆さんぜひ一遍、河村一遍話ししようかいう人がありましたら、1対1はちょっと重苦しいで何人かおるところで、割り勘で結構でございます。安いとこしかいかんよ、給料が安いもんだで。
- ・ということで、ええ中村をみんなで行っていきたいと思います。
- ・今日はサンキューベリーマッチ。

【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・非常に多様な分野のご発言をしていただきまして、発言者 13 名という話を申し上げたんですが、指摘事項は 1 人の方が複数項目指摘していただいておりますので、数としては 20 ぐらいのご指摘をいただいたんじゃないかなと思っております。
- ・これは中間報告ということですので、今日のご意見を踏まえて、また本来の計画づくりのほうに反映させていくということをして市長、区長ともども発言の中で言うておられますので、これからもまた市政のご支援、どうぞよろしく願いしたいと思います。
- ・どうもありがとうございました。

(以上)